

IV.個別業務の委託費用調査

1. 調査実施の基本的な考え方

(1) 調査の目的

本調査は、個別業務の費用面での効果・妥当性を検証することを目的とし、八尾市立病院が個別業務に支払うサービス対価について、同水準で受託可能な事業者に対して、従来方式（単年度、個別発注）にて委託したと想定した場合の費用を調査し、現状のサービス対価との比較を行う。

(2) 調査実施の前提

委託費用調査は、個別業務の業務内容や見積基準に対する事業者の認識不足から、見積額のばらつきが生じやすい傾向にある。また、実際の入札やプロポーザルではないことから、競争原理が働かず、往々にして高止まりしやすいことに留意する必要がある。

以上を踏まえ、可能な限り実態に即した調査結果を得るため、次のように見積の依頼方法を工夫した。

1) 見積条件の標準化

八尾市立病院の個別業務に係るサービス対価の積算方法を精査し、見積条件を設定する。医療事務業務における窓口数や、SPD業務の対象物品、看護補助業務の提供時間など、事業者間で差異が生じてはならない条件を固定する。これにより、現状の個別業務のサービス水準と可能な限り等しい水準の見積額を取得する。

また、あらかじめ見積項目の大まかな内訳を記載した積算様式を事業者へ提示し、事業者間での見積方法の乖離を防止する。

2) アイテック株式会社の所有データを活用し、妥当性を検証

アイテック株式会社が所有する他病院等のデータを用いて、八尾市立病院と同規模（300～400床）かつ従来型の委託方式を採用している病院（類似病院にて調査対象とした3病院とは異なる）を複数抽出し、事業者から提出された見積の比較を行うことで、見積の妥当性・合理性を検証する。

3) 事業者との意思疎通を図り、認識不足を防止

事業者と密に意思疎通を図り、見積条件に対する事業者の認識に齟齬が生じないように、質問等があった場合には迅速に対応する。また、事業者とのやり取りの過程で、見積の前提条件等に変更があることが判明した場合、改めて見積を依頼する。

2. 調査手法

(1) 個別業務のグルーピングと調査対象企業の抽出

個別業務について、それぞれの業務特性と現状の実施状況を勘案して、下表のように分類を行い、調査を依頼する対象企業の業種を整理し、事業者を抽出した。

業務名（左端列が見積を依頼した業務の単位）	対象業種
1 設備管理系業務 ³²	ビルメンテナンス業者
設備管理業務	
外構施設保守管理業務	
環境衛生管理業務	
植栽管理業務	
医療ガスの供給設備の保守点検業務	
2 警備業務	
3 清掃/廃棄物処理関連業務 ³³	
清掃業務	
廃棄物処理関連業務	
4 医療事務業務	医療事務/人材派遣業者
5 看護補助業務	
6 健診センター運営業務	
7 電話交換業務	
8 図書室運営業務	
9 SPD業務	滅菌/物流/人材派遣業者
10 滅菌消毒業務	
11 医療機器の保守点検/整備・管理業務 ³⁴	医療機器保守管理業者
医療機器の保守点検業務	
医療機器類の整備・管理業務	
12 洗濯業務	洗濯業者
13 検体検査業務	検査業者
14 食事の提供業務	給食業者
15 総合医療情報システムの運営、保守管理業務	システム保守運用業者
16 一般管理業務	経営コンサルティング業者

³² 設備管理・外構施設保守管理・環境衛生管理・植栽管理・医療ガス保守については、人員が各業務兼任体制となっているため、包括化した。

³³ 清掃業務に廃棄物処理関連業務が含まれる仕様となっているため、包括化した。

³⁴ 医療機器の保守点検業務と医療機器類の整備・管理業務が一体となっている仕様のため、包括化した。

(2) 調査対象企業への依頼・資料配布

1) 調査対象企業への依頼

依頼にあたっては、事業者の先入観を防ぐため、八尾市立病院の病院名は伏せ、病院の立地条件や施設規模等の概要を提示するに留めた。

2) 見積資料の作成及び配布

個別業務ごとに見積資料を作成し、調査対象企業へ依頼後、下表 1～7 の資料を配布した。

長期包括契約である八尾市立病院のサービス対価には、設備管理系業務の修繕費など単年度での積算にはなじまない費用が多分に含まれているため、単年度の見積様式とは分けて積算を依頼した。

また、机・椅子等の一般事務系の什器・備品のみが必要な業務については、当該業務の見積対象企業には依頼せず、一括して積算した。

なお、総合医療情報システムの運営、保守管理業務については、要求水準のうちシステム更新を除き、オペレータ業務のみに限定して見積を取得した。

[全業務共通 配布資料一覧]

配布資料	資料概要
1. 依頼状	—
2. 見積条件書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の概要（施設規模、患者数、手術件数等）を記載した。 ・ 見積に際し、仕様書・要求水準書以外に補足が必要な各種条件（人員体制、業務内容、見積作成の考え方等）を記載した。
3. 概算積算書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要求水準書の費用負担項目等を参考にサービス対価の支払方法を考慮し、業務別に見積様式を作成した。 ・ 設備管理業務及び外構施設保守管理業務については、10年分の修繕費の積算を別途依頼した。 ・ 検体検査業務、洗濯業務、食事の提供業務といった単価契約の業務については、項目ごとの単価見積を別様式にて依頼した。 ・ 業務固有の設備機器・備品等の初期投資を伴う業務については、当該調達費用の積算を別途依頼した。 ・ 必要な初期投資の範囲が、机・棚等の一般事務系の什器類のみである業務（設備管理系業務、警備業務、医療事務業務、健診センター運營業務、電話交換業務、医療機器の保守点検／整備・管理業務、一般管理業務）については、個別業務の見積とは分離し、別途、一括で積算した。
4. 送付状	—
5. 仕様書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様書は、八尾市が本事業のプロポーザル段階で公表した「個別参考仕様書」と、SPCが現在使用している仕様書（「SPC仕様書」）を比較検討したうえで、現状業務の実態により近い内容と考えられる仕様書を配布した。 ・ 一部の個別業務（看護補助、SPD、医療機器、洗濯）については、個別参考仕様書、SPC仕様書の両者を合体処理して対応した。
6. 要求水準書 (業務実施条件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要求水準書の資料名称を「業務実施条件」と変更した。
7. 添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見積条件書、仕様書、要求水準書（業務実施条件）以外に見積に必要であると考えられる資料を事業者へ送付した。 ・ 調査対象企業より、資料配布後に追加で資料提示の要求があった場合には、その都度対応した（下段「個別業務別 添付資料一覧」参照）。

[見積条件書・概算積算書のサンプル]

■配布資料例： 見積条件書		業務内容等
業務時間	365日 24時間	
人員体制	※設備管理、外構施設保守管理、環境衛生管理、植栽管理、 医ガス設備保守点検業務を兼務 ○平日 > 責任者(9:00~18:00): 1名 > 副責任者(〃): 1名 > 設備員(24時間): 3名体制 ○日曜・祝日 > 設備員(24時間): 3名体制	
業務内容	別途郵送する「仕様書」・「業務実施条件」をご参照下さい。 ※なお、修繕に「大規模修繕」は含みません。	
見積作成の考え方	①単年度の業務委託費 ②修繕費(10年間分の総計:大規模 修繕を除く)の両方をお聞きしています。ご注意ください。	

■配布資料例： 概算積算書		概算費用(金額:千円 従業員数:人)																																									
費用項目・費用内訳		計上費用例	金額(税抜)																																								
労務費 小計			0																																								
人件費	計(n×@)		0																																								
	従業員数(n)																																										
その他		福利厚生費、教育研修費、保健衛																																									
備品費(単年度換算)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単価</th> <th>区分</th> <th>実績数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">【リース分】</td> </tr> <tr> <td>基準寝具(1組当り)</td> <td></td> <td>リース</td> <td>113,180</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>基準病衣(1組当り)</td> <td></td> <td>リース</td> <td>37,647</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ベビー用寝具(1組当り)</td> <td></td> <td>リース</td> <td>3,494</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>病床外寝具(職員及び外来等) (1組当り)</td> <td></td> <td>リース</td> <td>14,235</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>801</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ドレーン病衣(ICU病衣)</td> <td></td> <td>リース</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		品名	単価	区分	実績数	金額	【リース分】					基準寝具(1組当り)		リース	113,180	0	基準病衣(1組当り)		リース	37,647	0	ベビー用寝具(1組当り)		リース	3,494	0	病床外寝具(職員及び外来等) (1組当り)		リース	14,235	0	合計			801	0	ドレーン病衣(ICU病衣)		リース	0	0
品名	単価	区分	実績数	金額																																							
【リース分】																																											
基準寝具(1組当り)		リース	113,180	0																																							
基準病衣(1組当り)		リース	37,647	0																																							
ベビー用寝具(1組当り)		リース	3,494	0																																							
病床外寝具(職員及び外来等) (1組当り)		リース	14,235	0																																							
合計			801	0																																							
ドレーン病衣(ICU病衣)		リース	0	0																																							
諸経費 小計																																											
その他 小計																																											
合計																																											

[個別業務別 添付資料一覧]

業務項目	添付資料
1 設備管理系業務	
設備管理業務	「設備機械一覧」、「平成20年度設備保守点検実績」、「平成20年度設備外構修繕実績」
外構施設保守管理業務	「平成20年度設備保守点検実績」、「平成20年度設備外構修繕実績」
環境衛生管理業務	「環境測定項目リスト」
植栽管理業務	「植栽管理実施要領」
医療ガスの供給設備の保守点検業務	「医療ガス設備仕様」
3 清掃業務	「部門別面積表」、「主要箇所清掃作業基準表」
4 医療事務業務	「医療事務関係の医事・電子カルテ端末リスト」、「レセプト件数」
5 看護補助業務	「ベッドメイク数実績」
9 SPD業務	「平成20年度診療材料リスト」、「平成20年度医薬品リスト」、「平成20年度印刷物リスト」、「平成20年度消耗品請求明細書」
10 滅菌消毒業務	「平成20年度中材室業務実績」、「コンテナリスト」、「滅菌機器リスト」
11 医療機器の保守点検/整備・管理業務	
医療機器の保守点検業務	「平成20年度医療機器保守点検表」、「保守対象放射線機器一覧」
医療機器類の整備・管理業務	

業務項目	添付資料
12 洗濯業務	「基準寝具仕様と被服貸与基準」
14 食事の提供業務	「メニューサンプル」、「選択食の実施頻度・方法」、「食種リスト」、「濃厚流動食・補助食品目」
15 総合医療情報システムの運営、保守管理業務	「ヘルプデスク対応実績」、「業務項目表（詳細版）」

3. 調査結果

(1) 見積取得結果

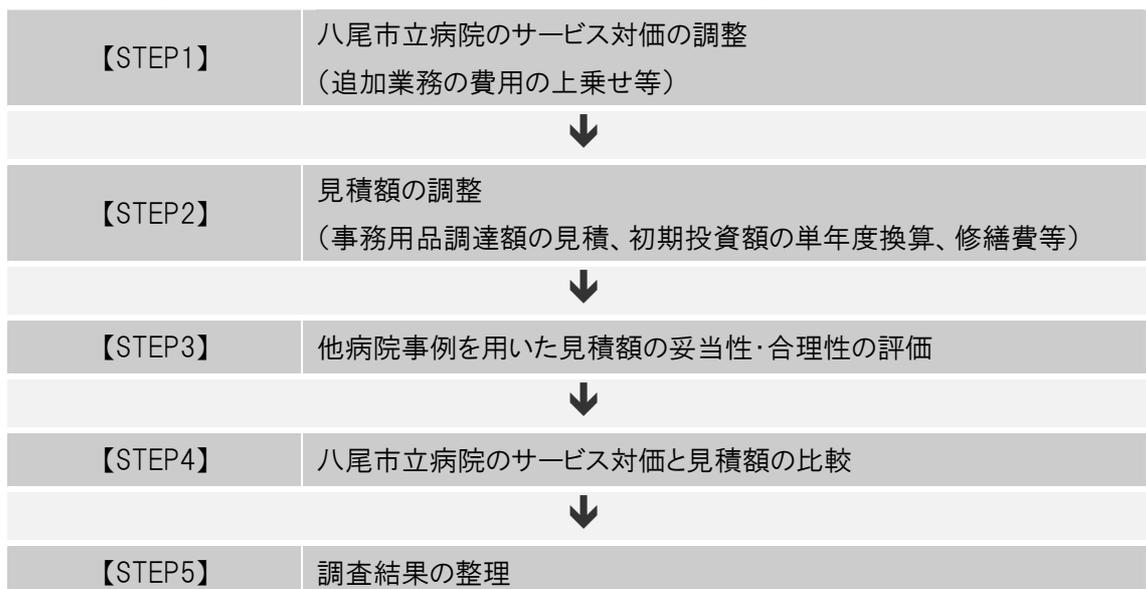
個別業務ごとの依頼数・受諾数は下表の通りである。

個別業務のうち、単年度での見積が困難な費用項目（設備管理系業務の修繕費用、業務固有の設備機器・備品等の初期投資費用）については、事業者によって積算不可との回答があった。また、当該費用を理由に受諾不可とした事業者もあった。

業務名	依頼数	受諾数
1 設備管理系業務	3 社	3 社
設備管理業務		
外構施設保守管理業務		
環境衛生管理業務		
植栽管理業務		
医療ガスの供給設備の保守点検業務		
2 警備業務	3 社	3 社
3 清掃／廃棄物処理関連業務		
清掃業務		
廃棄物処理関連業務		
4 医療事務業務	3 社	3 社
5 看護補助業務		
6 健診センター運営業務		
7 電話交換業務		
8 図書室運営業務	3 社	2 社
9 SPD業務		
10 滅菌消毒業務	4 社	3 社
11 医療機器の保守点検／整備・管理業務	5 社	2 社
医療機器の保守点検業務		
医療機器類の整備・管理業務		
12 洗濯業務	4 社	2 社
13 検体検査業務	3 社	2 社
14 食事の提供業務	4 社	3 社
15 総合医療情報システムの運営、保守管理業務	3 社	3 社
16 一般管理業務	3 社	3 社

(2) 調査分析の手順

個別業務の委託費用の妥当性の調査・分析の手順は以下の通りである。



1) 【STEP1】 八尾市立病院のサービス対価の調整

見積額と比較対象とする八尾市立病院の個別業務の費用は、当初計画に基づく支払い計画額とし、平成 17～20 年度計画額の平均値を使用した。ただし、検体検査業務、食事の提供業務、洗濯業務については、平成 20 年度実績値を用いた。

また、業務量の増加等に伴う追加費用が発生している業務のうち、追加に伴い事業者に配布した仕様書が変更されている業務（滅菌消毒業務、医療事務業務、看護補助業務、SPD 業務、医療機器の保守点検/整備・管理業務、一般管理業務、廃棄物処理関連業務、健診センター運営業務）については、計画額のままでは比較ができないため、該当する追加費用の実績額を計画額に上乗せして調整した。

2) 【STEP2】 見積額の調整

単年度の委託費として積算することができない費用項目については、以下のように処理を行った。

- ・ 10 年間分の修繕費用の積算を依頼した設備管理業務については、修繕費を単年度換算して、単年度の見積額に上乗せした。
- ・ 業務固有の什器備品や設備機器の初期投資費用の積算を依頼した業務（SPD 業務、滅菌消毒業務、食事の提供業務、洗濯業務）については、当該費用を法定耐用年数に応じて単年度換算し、単年度の見積額に上乗せした。
- ・ 別途一括積算した机・棚等の一般事務系の什器類に係る初期投資費用については、該当する業務（設備管理系業務、警備業務、医療事務業務、健診センター運営業務、電話交換業務、医療機器の保守点検/整備・管理業務、一般管理業務）の見積額に、単年度換算した金額を上乗せした。

3) 【STEP3】 他病院事例を用いた見積額の妥当性・合理性の評価

当該見積額の妥当性・合理性を確認するため、アイテック株式会社の所有する他病院の委託費（実績ベース）を用いて事業者から提出された見積額の比較評価を実施した。

比較にあたり、八尾市立病院と同規模（300～400床）で、かつ従来型の委託方式を採用している公立病院（類似病院にて調査対象とした3病院とは異なる。）を複数抽出し、当該委託費用の平均値（以下、「参考額」と言う。）を用いた。

対象とした他病院のデータは、原則として全業務共通して同一病院のものを使用したが、部分的に八尾市立病院と大きく委託範囲が異なるか、または委託していないなど、比較の困難な業務があった場合には、同規模病院以外の病院データ（私立医科大学病院等）を規模換算のうえ活用した。なお、同規模病院以外のデータ使用にあたっては、病院機能が異なるなどの個別事情が、調査の有効性に影響しないよう、業務特性等を考慮したうえで実施した。

4) 【STEP4】 八尾市立病院のサービス対価と見積額の比較

STEP1～STEP3を踏まえ、個別業務ごとに八尾市立病院のサービス対価と見積額を比較・検証した。

5) 【STEP5】 調査結果の整理

STEP4を踏まえ、八尾市立病院のサービス対価の妥当性について精査を要すると考えられる業務を抽出した。

(3) 個別業務の調査結果

事業者からの見積額は、全般的に高めの結果となった。特に高い傾向にあったのは、警備業務、清掃/廃棄物処理関連業務、医療事務業務、検体検査業務、滅菌消毒業務、洗濯業務、健診センター運營業務、電話交換業務、図書室運營業務である。

事業者2社以上が八尾市立病院より低い見積額となった業務は、設備管理系業務と食事の提供業務のみであった。事業者1社が八尾市立病院より低い見積額となった業務は、SPD業務であった。

また、設備管理系業務、警備業務、清掃/廃棄物処理関連業務、看護補助業務、SPD業務、滅菌消毒業務、総合医療情報システムの運営、保守管理業務においては、見積額に大きなばらつきが見られた。

個別業務の分析結果は下表の通りである。

【「総評」項目の凡例】

- ・・・現状のサービス対価が事業者見積額より明らかに低い
- △・・・現状のサービス対価と事業者見積額がほぼ同等、もしくは明らかに高い（低い）とまでは言えない
- ×・・・現状のサービス対価が事業者見積額より明らかに高い
- ・・・分析不可

業務名	八尾市立病院と事業者見積額の比較	事業者見積額と「参考額」の比較	総評	
1 設備管理系業務 (設備管理業務、外構施設保守管理業務、環境衛生管理業務、植栽管理業務、医療ガス保守業務)	1社が八尾を若干下回り、他2社が八尾の約0.3～0.5倍であった。	3社中2社が「参考額」を下回り(0.4～0.7倍)、1社が約1.2倍であった(平米換算)。	八尾のサービス対価は、比較的高めの見積となった事業者1社を若干上回っており、保守点検頻度・1保守点検あたり費用等に改善の余地がないか精査が必要である。	×
2 警備業務	1社が八尾とほぼ同等、他2社が八尾の1.4～2.6倍であった。八尾の人員数7名 ³⁵ に対し、事業者は8～13名前後見込んでいることで差異が生じていると考えられる。	1社が「参考額」の0.8倍であり、1社が同等、1社が1.9倍であった(平米換算)。	最も低い見積を提示した1社に対しても八尾のサービス対価は若干下回っており、コスト面では特に問題はない。	○
3 清掃/廃棄物処理関連業務	事業者3社全ての見積額が八尾を上回った(約2.3～4.2倍)。事業者が35～39人の人員を想定しているのに対し、八尾は23人の配置であり、1人あたり費用も低い。	1社が「参考額」の2.3倍、他の2社が1.2～1.3倍であり、全般的に高めに見積られていると言える(平米換算)。	最も低い見積を提示した1社に対しても八尾のサービス対価は下回っており、コスト面では特に問題はない。	○
4 医療事務業務	事業者3社全ての見積額が八尾を上回った(約1.8～3.1倍)。事業者が50～70人の人員	3社が「参考額」の1.5～2.6倍であり、全般的に高めに見積られて	最も低い見積を提示した1社に対しても八尾のサービス対価は下回っており、コスト面では特に問題はない。	○

³⁵ 以降、八尾市立病院の人員数は、特記がない限り平成21年7月時点の常勤・非常勤・パート全てを1とカウントした数を用いている。

業務名	八尾市立病院と事業者見積額の比較	事業者見積額と「参考額」の比較	総評	
	を想定しているのに対し、八尾の人員数は124人と多いが、1人あたり費用が約100万円と極めて低い。	いると言える(病床数換算)。		
5 看護補助業務	事業者3社中2社が八尾とほぼ同等、他1社が0.5倍であった。	1社が「参考額」の0.6倍、他2社が約1.2~1.5倍であり、全般的にやや高めに見積られていると言える(病床数換算)。	八尾のサービス対価は事業者の見積額とほぼ同等と言えるが、3社中2社は高めに見積られており、八尾のサービス対価に問題がないとまでは言えない。	△
6 健診センター運営業務	事業者3社の見積額が八尾の1.5~2.3倍であった。	見積額を評価しうる適切な「参考額」は得られなかった。	見積額と「参考額」の比較はできないが、3社の見積額を現状のサービス対価が下回っているため特に問題はないと考えられる。	○
7 電話交換業務				
8 図書室運営業務				
9 SPD業務	事業者2社中1社が八尾の2.2倍であり、他1社が0.7倍であった。人員数は八尾と事業者とで大差はなく(10~15名前後)、人件費単価及び諸経費で差異が生じていると考えられる。	八尾より低い見積の1社は「参考額」の約0.5倍と、極めて低い見積である。一方、八尾より高い見積の1社は、「参考額」の約1.7倍であり、こちらは比較的高い見積と言える(病床数換算)。	SPD業務は見積にばらつきが生じやすい傾向にあり、詳細な比較検討は難しい面があるが、八尾より低い1社の見積額は、「参考額」と比較しても極めて低く、現状のサービス対価に問題がないとまでは言えない。	△
10 滅菌消毒業務	事業者3社全てが八尾の1.4~2.8倍であった。人員数は13名前後と八尾・事業者間で大差はなく、人件費単価、その他諸経費等で差異が生じたと考えられる。	3社の見積額は「参考額」の1.9~3.7倍と高く、全般的に高めの見積額となった(病床数換算)。	八尾のサービス対価は事業者の見積を全て下回ったが、全般的に高めに見積られており、八尾のサービス対価に問題がないとまでは言えない。	△
11 医療機器の保守点検業務 / 医療機器類の整備・管理業務	事業者からは、保守点検費用は見積不可との回答があった(1社は労務費のみ、他1社は労務費・備品費・諸経費)。	見積額を評価しうる適切な「参考額」は得られなかった。	本調査では、保守点検費用の見積は取得できなかったため、現状のサービス対価との詳細な比較分析はできなかった。	-
12 洗濯業務	事業者2社の見積が八尾の1.3~1.5倍であり、八尾のコストは比較的低いと言える。	「参考額」に対し事業者見積額は3.9~4.5倍であり、高めに見積られていると言える(病床数換算)。	八尾のサービス対価は事業者の見積を全て下回ったが、全般的に高めに見積られており、八尾のサービス対価に問題がないとまでは言えない。	△
13 検体検査業務	事業者2社の見積に大差はなく、共に八尾に対し1.2倍である。2社共に検査項目550項目中、3~30項目について見積不可となって	見積額を評価しうる適切な「参考額」は得られなかった。	見積額と「参考額」の比較はできないが、2社の見積額を現状の八尾のサービス対価が下回っているため特に問題はないと考えられる。	○

業務名	八尾市立病院と事業者見積額の比較	事業者見積額と「参考額」の比較	総評	
	いるにも関わらず、八尾のサービス対価を上回っている。			
14 食事の提供業務	事業者3社中2社が八尾を若干下回り、他1社が1.2倍であった。人員数は八尾と3社で大差はなく、人件費単価・給食材料費等に差異があると想定される。	事業者3社中2社が「参考額」とほぼ同等、1社は1.3倍となった(病床数換算)。	八尾のサービス対価・見積額・「参考額」で大差はないが、その中でも八尾は高い部類に入る。人件費単価・食材の調達コストに改善の余地がないか検討しうる。	×
15 総合医療情報システムの運営、保守管理業務	事業者からの見積はオペレータ業務に限定して取得した。	見積額を評価しうる適切な「参考額」は得られなかった。	見積はオペレータ業務のみとなったため、現状のサービス対価との詳細な比較分析はできなかった。	—
16 一般管理業務	事業者3社中2社が八尾とほぼ同等、1社が1.3倍であった。	3社が「参考額」の0.5~0.8倍であった。ただし、「参考額」の業務内容は再開発支援及び経営改善の全般的な支援まで含むため、事業者の見積が低めであるとは言えない(従事者数換算)。	事業者の見積の妥当性は更なる精査が必要なものの、現状の八尾のサービス対価は見積額と概ね同等か下回っており、コスト面で特に問題はないと考えられる。	○

(4) 調査結果の整理

本調査の結果から、今後、八尾市立病院における個別業務ごとのサービス対価について精査を要すると考えられる業務は以下の通りである。

1) 設備管理系業務

ア 調査分析の前提

- ・ 設備管理系業務は、人員体制が各業務兼任となっていたため、見積の積算書は一体で事業者3社へ提示し、可能であれば業務別に積算するよう依頼した結果、事業者3社中1社から業務別の見積を取得し、他2社は一体での積算となった。
- ・ 10年分の修繕費については、事業者3社中1社から見積不可との回答があった。
- ・ 机・棚等の一般事務系の什器類に係る初期投資費用については、別途一括積算し、単年度換算した額を、事業者の見積額に上乘せした。

イ 調査分析

- ・ 事業者3社中1社が、八尾市立病院のサービス対価を若干下回り、他2社は0.3～0.5倍であった。
- ・ 見積額の妥当性を検証するため、「参考額」と100㎡あたり費用で比較すると、3社中2社が下回り(0.4～0.7倍)、1社が約1.2倍であった。比較的高めに見積った事業者1社に対し現状のサービス対価は若干上回った。
- ・ 人員数は、八尾市立病院と事業者3社で大差がなく、人件費単価あるいは保守点検費用(点検頻度・単価)、修繕費等により差異が生じているものと考えられる。
- ・ なお、事業者3社の人件費単価は、2社が500万円強、1社が900万円弱であった。

2) 食事の提供業務

ア 調査分析の前提

- ・ 食事の提供業務については、八尾市立病院の平成20年度食事項目別単価の実績値を用いて見積額と比較するため、事業者へは労務費・給食材料費・経費等を含んだ食事項目別単価を提案するよう依頼した。
- ・ 事業者3社のうち、1社からは労務費等込みの項目別単価を取得した。他2社からは、労務費、給食材料費、経費を別に取得したが、一律で比較するため、給食材料費を含めた費用を食数で除して単価換算した。

イ 調査分析

- ・ 事業者3社中2社の見積額が八尾市立病院を若干下回り、他1社は1.2倍となった。見積額と「参考額」に大差はなく、八尾市立病院は比較的高い部類に入るといえる。
- ・ 人員数は八尾市立病院と事業者3社で大差はなく、人件費単価・給食材料費等に差異があると想定される。人件費単価については、現状スタッフ全員が栄養士・調理師等の資格所有者であることが影響している可能性がある。内訳を提示してきた2社の人件費単価は、いずれも280万円前後である。
- ・ 食種別の1食あたり単価の比較では、普通食(非加算食)、ミルク食が高い結果となっ

た。普通食（非加算食）については、八尾市立病院が2社と概ね同等だが若干高く、ミルク食については2社の1.2～7.0倍の差異が生じた。普通食の食数は、全体の6割と最も多く、単価削減の効果が高いと考えられる。